



先輩たちがやってきた！

いやあ、晴れの日が続きますねえ。桜の季節は何故か雨や肌寒い日が続き、今年は散々な春の到来だなあ、と思っていたら・・・4月後半からはゴールデンウィークを挟み初夏の陽射しがずーっと続いています（少し雨の日もありましたが）。動物園にとっては願ってもない話で、遠足シーズンの今月も団体さんやたくさん子どもたちがやってきて、園は歓声に包まれています。先ほども園内を歩いていたら、つい最近、1頭しかいなかったアメリカアカリスに仲間が4頭入ってきたこともあり、金網チューブを行ったり来たりする姿に遠足で来ていた園児たちが興奮していました。そんな中、先日珍しい（失礼？）団体さん30人くらいがやってきました。この近辺に住んでる方たちなのですが、なんとほとんどが70歳代、80歳代の高齢の方たちで、「ふれあいサロン」という集まりらしいのですが色々趣味を楽しむ延長で今回動物園を訪れよう、ということになったそうです。



《アメリカアカリス横断中》

はじめ園長さんから少し話をしてもらいたい、というのでリニューアルを含め動物園の歴史のようなことを少し話しました。動物園ができたのが昭和32年、私はその1年前の生まれなので、皆さんは私以上に当時のことをご存知かと思うし、むしろ動物園の歴史も客観的に見てこられたのではないかと、といったことも話しました。それでもここ数年のリニューアルでの変わりように、皆一様に驚きを隠せないようでした。子供が小さいころに来て以来なので、実に50年ぶりというような方もいらっしゃいました。



《遠足でどった返す園内》

動物園は、動物が好きな方以外はおそらく子供の連れ歩きスポットの一つ、と考えている方が結構多いと思うのですが、そうした方はやはり子供さんが大きくなると動物園から足が遠く傾向にあることは否めないと思います。でも、決して子供たちのものだけではないはずで、こうした高齢者の方にも十分楽しんでもらえる施設だと思っています。

そこで今回は特別、今流の動物園の楽しみ方を体験してもらうことに。まずはゾウのエサやり体験です。エサをあげて鼻を触って、多分初めて体験する方がほとんどだと思いますが、体験場は終始子供さんと同じような嬌声に包まれていました。「ゾウはエサを鼻でつまんでそのまま啜って食べるの?」と聞かれる方もいて、いやいやちゃんと口へ持っていきますよ、と説明すると驚かれたりしていました。

次はニシキヘビの触れ合いです。「今から珍しい動物が登場します」と言っただけで「え、ヘビ?」と誰かが反応するとまたたく間に「うわー」とか「やだやだ」など騒然とした雰囲気。いよいよ飼育員が大きなビルマニシキヘビを抱えて持ってくるとう興奮は最高潮に。それでも興味のある方はすぐ近寄ってきてヘビの体に触れながら飼育員にいろいろ質問をしていました。また後ずさりしたりした方も徐々に近寄ってきて少一し触ったり……。すると、「想像してたのと感触が違いますね」と素直な感想を漏らしていました。



«ふれあいサロン御一行様»

皆さんこれまで色々な経験をしてきた人生の先輩さんです。それが子供さんと同じように動物たちに反応し、質問し、目を輝かせていました。先ほど動物園は子供だけのものではない、と書きましたが、日常とは離れ、新しい発見や興味や関心が広がっていく意味で、動物園はまさに年齢や性別を問わずに楽しめる場所ということができると思います。そして「檻の中の動物を眺める」だけという古いタイプの動物園しか知らなかった年代の人たちにこそこれからどんどん来てもらいたいと思っています。

思いのほか（失礼！）お体もお元気で、日中25度を超える真夏のような陽射しが照りつけるにもかかわらず、約3時間にわたって動物園を楽しまれた「ふれあいサロン」の皆様、ありがとうございました。またお待ちしております。

[※どうぶつのに「あっ、かみね動物園だ！」連載中](#)（新しいウィンドウが開きます）

2015年5月23日